

次期の見通し

■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、国内景気はオリンピック等の大規模イベントを控え緩やかな回復を継続すると予想されますが、外需の減速の懸念から製造業の景況感が悪化するなど一部に弱さも予想されます。

このような経済環境の下で、国内企業は設備投資やソフトウェア投資に対し積極的な姿勢を維持しており、同時に働き方改革関連法への対応やセキュリティの強化、AI・IoT・5G等の技術の活用などが求められています。これにより企業のIT投資は、今後も底堅く推移するものと予想されます。

■「オフィスまるごと大塚商会」

以上のような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、働き方改革への対応を必要としている中小企業のお客様に対し、対応コストを上回る生産性向上やコスト削減を実現するソリューションを提案し、市場のニーズを掴みます。また、お客様との新たな関係創りを目的として、AI等の技術で営業活動を支援し、営業がカバーできていないお客様に対応するセンター機能やお客様に寄り添うポータルサイトお客様マイページ[※]を充実させ、お客様との接点を増やし営業活動の効率をさらに上げていきます。

これらの活動により当社グループは、一回のお客様から一生のお客様になっていただけるよう努め、「オフィスまるごと」の方針の下、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材やサービスを活かした付加価値の高い提案を行います。これらに加え、オフィスサプライ商品の品揃えや保守サービスメニューの開発等でストックビジネスを強化し、お客様との安定的かつ長期的な取引関係に基づく収益基盤の充実を図ります。

2020年の市場環境

- 国内景気は安定的だが、一部に弱さ
- 働き方改革、中小企業のIT化を進め生産性向上を後押し
- AI、IoT、5Gなど市場拡大
- オリンピック、パラリンピックなど大規模イベント
- 企業のIT活用ニーズ、省エネニーズは底堅い

2020年の方針と施策

「お客様の目線でソリューションを活かし、お客様の信頼に応える」

- 働き方改革、特に中小企業対応と生産性向上
- お客様満足度の更なる向上で「オフィスまるごと」
- Windows7機法人市場の残り 813万台の更新
- 文部科学省GIGAスクール構想実現への対応
- 大戦略IIの本格推進

※お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイトのこと。

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、働き方改革への対応や生産性向上・コスト削減のニーズを掘り起こし、商材やサービスを組み合わせた複合システム提案や総合提案を進め、ソリューション提案の強化を図ります。

サービス&サポート事業では、「たのめーる」において、お客様のニーズに合わせた品揃え、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、お客様が安心して安全に企業活動を継続するためのサービス、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努めます。

■次期の業績見通し

次期の連結業績予想は以下の通りです。

売上高8,640億円(前年同期比2.5%減)、営業利益637億円(前年同期比2.4%増)、経常利益646億円(前年同期比1.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益435億30百万円(前年同期比0.1%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業5,435億50百万円(前年同期比6.1%減)、サービス&サポート事業3,204億50百万円(前年同期比4.1%増)。

次期については、平均成長率に沿った業績予想となっています。連結業績予想は以上のとおりですが、当社グループとしては上述の方針や活動を徹底し11期連続の増収増益増配を目指します。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2019年 12月期	2020年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	886,536	864,000	-2.5%
営業利益	62,192	63,700	+2.4%
経常利益	63,706	64,600	+1.4%
純利益※	43,497	43,530	+0.1%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2019年 12月期	2020年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	578,698	543,550	-6.1%
サービス&サポート事業	307,837	320,450	+4.1%